

駿府城は実戦向きな城？！家康の攻防の工夫を要チェック！

専門家が教える、ちょっとマニアックな駿府城見学ポイント！のどかな公園を攻めるつもりで回れば、天下人家康の頭の中が見えてくる？？

現地説明板をあわせてご覧ください。

其の壱 囲い込んで高みから攻撃、樹形“キルゾーン”！

東御門でチェック！高麗門（こうらいもん）、櫓門（やぐらもん）、多聞櫓（たもんやぐら）で囲まれた四角い樹形（ますがた）空間。侵入した敵を囲い込んで、高みから一斉攻撃。近世の城の大きな特徴で、駿府城でも主要な門に取り入れられた！

>> チェックポイント：①



⑪清水御門

其の弐 外敵の進入を防ぐ幅広な堀と高く折れのある石垣

東御門を外側からチェック！鎧（よろい）を着て渡るには困難な幅のある水堀。高さのある石垣との組み合わせで防御性を高める。石垣の上の土壁には「狭間（さま）」と呼ばれる穴があり、内側から弓矢や鉄砲で攻撃できる。□が矢、○が鉄砲。折れ曲がった石垣で多方向への攻撃が可能となる！

>> チェックポイント：② ③



⑩三ノ丸櫓台

其の参 石落としからは矢も鉄砲も熱湯も降り注ぐ

石落としが確認できるのは、東御門の櫓門と坤櫓（ひつじさるやぐら）。現在は安全確保のためふたをしてあるが、直下へ迫る敵に石や時に熱湯などを浴びせた。実際は狭間同様に、矢や鉄砲で攻撃することが主目的だったとの説もある。坤櫓は、石垣からの敵の進入を防ぐため、堀に張り出した石落としを設けている姿が戦闘的！

>> チェックポイント：④ ⑨



⑨坤櫓の石落とし

其の四 なかなか本丸にたどり着けない喰違御門や中仕切り

まずは、東喰違御門（ひがしくいちがいごもん）を確認！東から本丸へ進もうとする侵入者を、二重の石垣とその間の門で防御。片側の石垣が現存するので要チェック！また、現在の二ノ丸橋を進むと、二ノ丸御門と本丸の御玄関御門の間の中仕切りの位置が、低い石列により示されている。本丸へはなかなかたどり着けない構造だ。

>> チェックポイント：⑥ ⑦



⑧坤櫓の高石垣

其の五 駿府城の特徴ともいえる水路

本丸堀と二ノ丸堀を結ぶ二ノ丸水路は、堀底にまで石を敷きつめた珍しい構造だ。発掘では柵の一部が発見され、水路からの敵の進入を防ぐ手立てだった可能性あり！水路には段差が設けられており、本丸堀の水位の調整を行っていたと考えられる。

>> チェックポイント：⑤

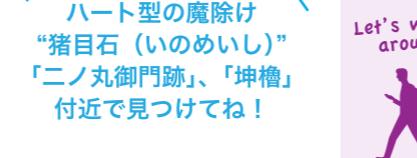


⑦二ノ丸御門の中仕切り

其の六 唯一の弱点！？西側に厚い守り

坤櫓の高石垣に見られるように、標高が高く攻撃を受けやすい西側の守りを強化していると考えられる。西側には門や橋などの入口がほとんどなく、唯一の清水御門（しみずごもん）は、2階建ての多聞櫓を有する堅い守りの門だった。橋は可動するはね橋だったとの説もある。そして、西の守りの象徴となるのが、三ノ丸西南隅（静岡市立病院横）に現存する櫓台。必見！

>> チェックポイント：⑧ ⑩ ⑪



おまけ
ハート型の魔除け
「猪目石（いのめいし）」
「二ノ丸御門跡」、「坤櫓」
付近で見つけてね！



周遊コース（60分）

※時間は目安です。天守台発掘現場・きやっしる、坤櫓での見学時間等により変わります。

巽櫓 → 東御門 [①②③④] → 二ノ丸水路 [⑤] → 東喰違御門 [⑥] → 二ノ丸御門 [⑦] → 坤櫓 [⑧⑨] → 三ノ丸櫓台 [⑩] → 清水御門 [⑪] → 天守台発掘現場・きやっしる



①東御門の樹形空間



②東側の堀と高石垣



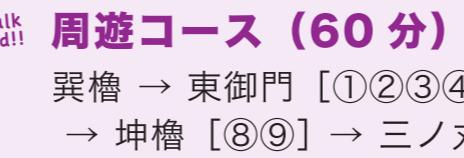
③狭間



④櫓門の石落とし



⑤二ノ丸水路



⑥東喰違御門の石垣